

ですから原子力安全委員会の斑目委員長や保安員の方々を悪く言うわけが無いわけで、本当に民間人の検討委員会なのかと、疑りたく

なる内容が随所にあるようです。どちらかという覆いをかぶった官僚側の意見集約的報告のように聞こえてきます。

幹事報告<藤掛幹事>

- ・来週、3月7日の例会終了後、第9回理事・役員会を行います。理事・役員の方のご出席をお願いいたします。
- ・先週開催された地区大会の御礼状を、第2580地区水野ガバナー、地区大会実行委

- 員会、ホストクラブの東京足立ロータリークラブより頂戴いたしました。
- ・東京本郷ロータリークラブより「創立20周年記念誌」が来ております。クラブ事務所にて置いてあります。
- ・3月のロータリーレート、78円となります。

委員会報告

<親睦活動委員会>

- ・来る4月21日～22日 親睦旅行を、熱海小嵐亭（こがらしてい）にて開催致します。メンバーだけでも30名は集めたいと考えておりますので、よろしくようお願い申し上げます。

<中村義英君>

- ・3月11日東本願寺におきまして、東日本震災犠牲者追悼法要を行います。被災地への追悼の意と支援の心を持って行きます。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

ニコニコボックス

<長堀、永井、古谷、岩戸、上野、植木、海内、原田、太田、井田、大塚、宮村、藤田、中村、松本、斎藤、矢野、上原>

- ・笹生君、藤掛君、会員卓話を楽しみにしております。

産いたしました。元気な女の子です。いよいよ私もグランパです。

<加藤>

- ・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難うございました。

<藤掛、太田、井田>

- ・東日本大震災
頑張ろう 東日本！
立ち上がれ 日本！

<笹生>

- ・例会場でマイクの前に立つと別人（別人格）になり、誤解されます。（但しロータリーのみ。他の会では皆無です。）型破りな卓話、お許しください。お付き合い頂いた御礼に佃煮少々ご笑納ください。

<小林（雅）>

- ・先週、ジュネーブにおいて、長女が無事出

会員卓話

「歌と句とフレーズで綴る 26年間の思い出」



原えつお 画

笹生貞介君

入会：昭和61年（1986年）4月2日（創立1985／11／13の4ヶ月後。
花（？）の第一期生。同期に松井元会員）

市川海老蔵ならぬ笹生鮎蔵で、入会時の心情をご披露。

“問はれて名乗るもおくがましいが、生まれは下町浅草で
三社様の境内で、遊んだお蔭か良く育ち
今じゃ身の丈六尺超えて、既製品では間に合わず
あれこれオーダー不経済
ハムカツちゃんに誘われて、熱い思いを胸に秘め
夢見て入ったロータリー
仰せつかった初仕事、聞いてびっくり親睦で
青いタスキを掛けられて、身体ばかりが役に立ち
良いか悪いかこのセンス、発揮出来ずが哀しくて
ホテルの隅で ふと涙
肉とお寿司が大好きで 気は優しくて 力持ち（!?）
これから売り出す 大型（O型）笹生”

- *抱井会長・神谷幹事・小堀先生の3K～但し・コワイ・キビシイ・キツイ
に非ず、教育的・清い・きめ細かい。（千種会に入会、ホミニス学園支援）
- *友が皆 我より偉く 見ゆる日よ 広き館に 麗人と住む
- *どじょっ子も ふなっ子もいる ロータリー
- *食文化 どぜう一筋 ビルが建ち
（ドジョウも鮎も“ヨウシヨク・養殖・洋食”ではありません。“ワシヨク・和食”です。）
- *たかが一食 されど昼食 まして会食
- *日々の時の流れは変われねど 昭和終はりて平成の御代
- *別館を 別宅と言ひ 疑われ
- *母と子（娘）が 一度に消えし 新戸籍（保険証）
- *7桁も5パーセントも慣らされて
（郵便番号が7桁に、消費税が5%にアップ）
- *世紀末 地震台風 テロ サリン オウム返しの 無きを祈らん
- *休会は 退会への 一里塚
- *タイカイ（大会）を タイカイ（退会）と聞き 皆慌て
- *区域変わればクラブも変わる 会場変わればメシ変わる
- *浅草倫理法人会・東京北ワイズメンズクラブで講演。
“関東の3例会”の全てで“佃煮と鮎”と題し“スピーチ”を経験
「朝倫理 昼ロータリー 夜ワイズ」
- *文明の 利器に敗れし 文化人（？）
（頑なにクラブでただ一人だけパソコン・メールの導入を拒んでいた小生
もIT推進委員会の熱意に敗けました。）
- *ロータリーは心の栄養。
勧められ 今は勧める ロータリー
- *今日からは 夢の字とれし TX(つくばエクスプレス)
つくば～浅草 愛の架け橋

*歌うニコニコ「ああそれなのに」

♪空にゃ今日もスカイツリー さぞかしロータリーで今頃は
お忙しいと思ったに ああ それなのに それなのに
ねえ 怒るのは 怒るのは あったりまえでしょう
Today newtower in the sky
Perhaps he is in the viewhotel Rotary busy I think
Oh nevertheless nevertheless You see
I get angry I get angry It is naturally

諸事情により、例会出席ままならず、在籍四半世紀（25年）を機に、そろそろ“引退”の二文字が頭をよりぎましたが、東日本大震災への支援活動や、メンバー各位の魅力にRCの素晴らしさを再認識、27年（鮎周年）目指して頑張る所存です。

.....
“船中八策”ならぬ“浅中八策”～後日発表予定です。

♪あんまり長いのは お耳にお邪魔です。それでは皆さん ご機嫌宜しく さようなら～



藤 掛 靖 元 君

1. 宮城県山元町にてのボランティア体験記
先週、宮城県の亘理郡山元町にてボランティアを致しました。山元町は仙台湾の南端、相馬市の北に位置し仙台市若林区、名取市、仙台空港近くの岩沼市と共に棲息する津波の被害にあった地域です。イチゴの産地としても有名な所で、昨年11月の被災地見学会では我がクラブの有志も訪問を致しました。被災地の中でも復興が遅れている地域でもあり一度はボランティアとして活動したかった所です。瓦礫などはほぼ片付いていますが、農業用水路、側溝等の農業を復興させるにも必要な設備の復旧はまだまだのようです。この復旧には多くのボランティアの手作業による所が多く相当な時間がかかると思われます。今回、この山元町を中心にボランティア活動をしているボランティアバスがあり、参加を申

し込みました。先週の金曜日（2月24日）午後11時30分に東京駅、丸ビルの前に集合後大型バスにて東北道を一歩現地へ向け出発、参加者は45名です。バスの中で仮眠をとり午前5時頃に国見パーキングエリアにて身支度を整えた後白石インターを降り活動地、山元町に入りました。外はすごい雪です。雨や雪の場合は屋外での活動はかなり制限される為、写真、書類の洗浄など屋内での作業が多くなるのが通例です。「多分この天候ではラクな作業だな。早めに切り上げて日帰り温泉にでも入り・・・。」とボランティア志願者としてあるまじき妄想に捕らわれてしまう中、予想に反し？山元町役場のボランティアセンターの方から側溝（幅、深さ共約1メートルの水路）の整備を依頼されました。一面雪原の中、海砂と瓦礫に覆われた側溝をスコップを振

い只々泥の掻き出しの作業。厳寒の中ですが汗をかきます。少し休憩すると途端に汗が冷え体の中から冷気が襲ってきます。10時過ぎから約3時間作業に没頭（せざるを得ず）、体力勝負！バテマシタ。

先日の地区大会のパネルディスカッションにてインターアクトの方が被災地でのボランティア活動について「時間がたつにつれボランティア活動に関して現地のニーズが変わってきている。特にハード面だけでなくPTSD(心的外傷後ストレス傷害)の方々が増えておりソフト面でのケアの必要が大切である。」と指摘しておりました。この支援活動についてはカウンセリング、特に傾聴などのスキルが必要となるでしょう。確かに今までの活動の中で、現地の方々と会話をする中でお互い心が和む場面がありました。「現地の方々の話しをじっくり聞くこと。」これもソフト面での支援活動であると感じます。もうすぐあの大震災から1年を迎えようとしています。先ほどの農業用水路、側溝の整備など、地域によってはまだまだハード面の作業が必要です。「現地の方々ニーズに答えつつ継続して息の長い支援活動を続けてゆく事が必要。」と、雪の中での作業で思いつつ、帰ってまいりました。

2. ロータリーについて

私は平成15年10月に一旦退会を致しました。この経緯については再入会のインシエーションスピーチにてお話させて頂いたと思います。退会理由は2つです。一つは会社を再構築せんが為、「仕事に全精力をつぎ込む覚悟を固める。」ロータリーの退会は自分をその環境に追い込むためのものでした。もう一つは世間体です。世間ではロータリーは「余裕のある経営者の社交クラブ。」と見られていると感じておりました。背水の陣を敷いて経営の当たるべき時、取引先に対しても、社員に対しても自分のその姿勢を見せるために退会を宣言する必要性がありました。そして縁あって再入会、この再入会をしたことが、もう一度ロータ

リーを見つめなおす機会となっていることを感じます。

時々、ロータリーが誕生した時の姿を思い浮かべます。その時のポールハリスの思いです。1900年代の初頭、人心の荒廃した大都会シカゴ。「どこにでも人はいる。でも、友達はどこにもいない。」この疎外感の克服のため3人の知人を誘い、定期的集まり、友情を分かち合った、これがロータリーの原点であるとする、そして自己の職業を通し社会に奉仕して行く、その精神を涵養する場がロータリーであるとする、会社が困難な局面に遭遇した時ほど経営者にとってロータリーが自分の心を見つめ直す場であるのでは。大変な時だからこそ、自分の職業をもう一回見直して、元気をもらってまた会社へ戻って頑張る。これが本来のロータリーの役割なのか……。先日の地区大会にて水野ガバナーは、第2580地区のメンバー数が一時の5000人から3000人に減少したことについてロータリーが形式主義に陥ったから、と指摘がありました。ロータリーが持つ本来の役割、これは理想であり、現実にはクラブの運営のために形を整えることが先行します。毎週例会を運営してゆくに当たり、私はこれは致し方ない事と割り切るのですが、人によってはこれが負担とを感じる所なのかもしれません。「大変な時だからこそ、自分の職業をもう一回見直して、そして元気をもらってまた会社へ戻って頑張る。これが本来のロータリーの役割。」では、「もし現実に会社が危機的な状況になったら、あなたはロータリーに残りますか。」……。今の私は自信を持ってYES！とは言えません。本来あるべきロータリーの姿と、今の現状のロータリーの姿とのギャップを感じる。これが今、ロータリーに対して抱いている私の偽わざる感想であり、今感じていることである事を伝えをいたしまして、私の卓話とさせていただきます。有り難うございました。